

世界のESG投資の動向と 森林問題



高崎経済大学 教授
水口 剛

ESG投資とは何か

環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)
を考慮した投資行動 = ESG投資

責任投資原則(PRI)

- 2006年、国連の支援で策定
- 世界の1800以上の年金、保険、運用機関等が署名(2018年)
- 事務局はロンドン。責任投資の推進活動。

1. ESG課題を投資の分析と意思決定のプロセスに組み込む。
2. 積極的な株主となり、ESG課題を株主としての方針と活動に組み込む。
3. 投資先企業にESG課題に関する適切な情報開示を求める。
4. 投資業界がこれらの原則を受け入れ、実践するよう促す。
5. 原則の実施にあたって、効果が高まるよう相互に協力する。
6. 原則の実施に関する活動と進捗について報告する。

PRIへの署名状況(海外)

(公的年金・政府系基金)

ノルウェー政府年金基金、ABP、PGGM(オランダ)、AP1-AP4、AP7(スウェーデン)、ERAFP、FRR(フランス)、CalPERS、CalSTRS、NY州年金基金、NY市年金基金(アメリカ)、イギリス環境庁年金基金、等

(企業年金)

BT、BP、ユニリーバ、BBC、M&S(マークス・アンド・スペンサー)、シェル、アビバ、バークレイ、USS(大学教員年金スキーム)、SAUL(ロンドン大学職員年金制度)

世界のPRI署名機関1867件、うちアセットオーナー364件
出所:PRIのHPより、一部抜粋、2017年11月28日現在

PRIへの署名状況(国内)

(年金等)

GPIF、企業年金連合会

セコム、キッコーマン、上智大学

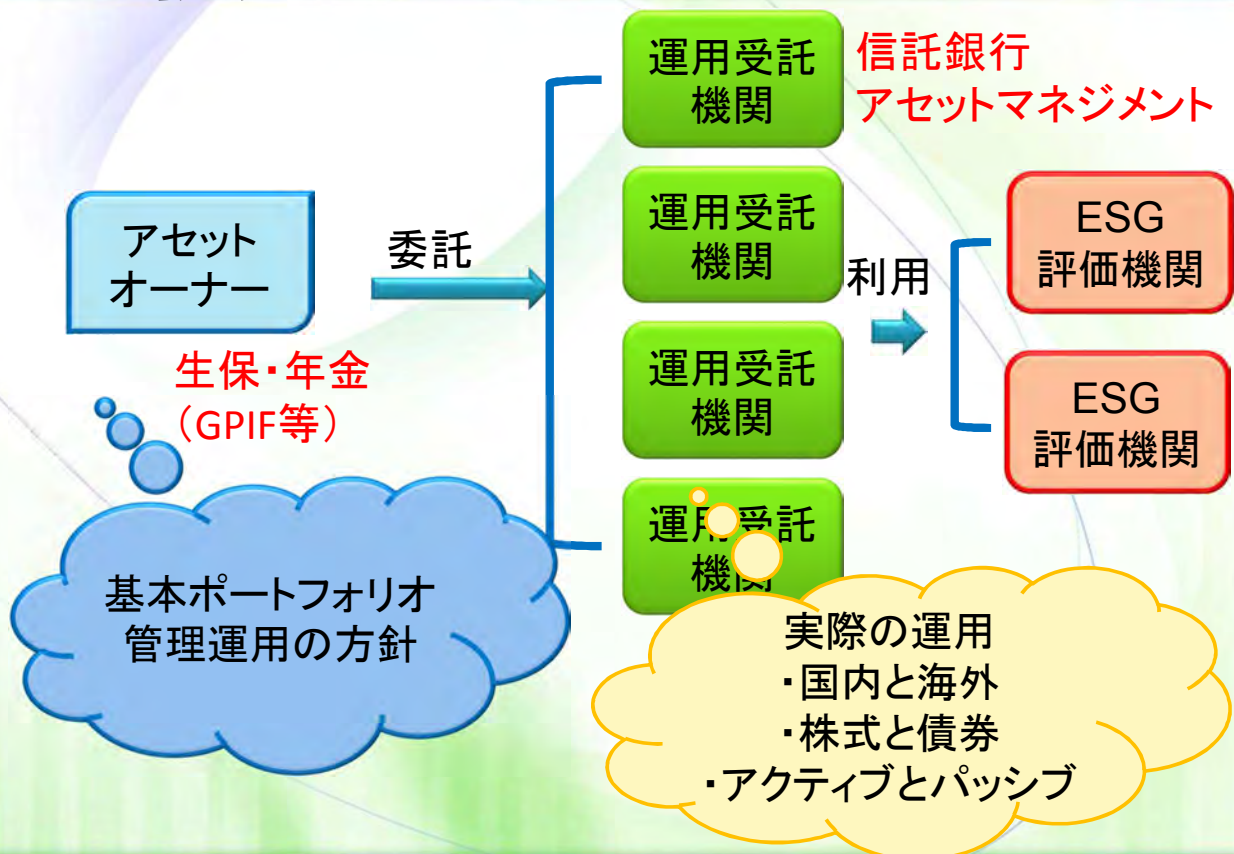
(保険・金融)

損保ジャパン、太陽生命、日本生命、日本政策投資銀行、大同生命、富国生命、第一生命、MS&AD、東京海上日動、労働金庫連合会、かんぽ生命保険

日本のPRI署名機関59件、うちアセットオーナー16件
出所: PRIのHPより、一部抜粋、2017年11月28日現在

2015年9月、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)のPRI署名を機に、日本でも急速に進展

ESG投資の方法(1)



ESG投資の方法(2)

除外 (Exclusion)と売却 (Divestment)

- ・非人道兵器など。国際的な規範への違反。
- ・化石燃料関連企業など、投資リスクを避ける。

スクリーニング

- ・ESGのレーティングを投資先の選別に反映

インテグレーション

- ・通常の財務分析の中でESG要因を考慮

エンゲージメント

- ・株主としてESGへの対応を要望。株主提案も含む。

GPIFによるESG指数の選定

- 2017年7月、GPIFが3つのESG指数を選定
- 国内株式の3%程度(1兆円程度)を組入れ
(運用資産総額約160兆円、うち25%が国内株式)

- ・FTSE Blossom Japan Index
- ・MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- ・MSCI日本株女性活躍指数(WIN)



EU: サステナブル金融ハイレベル専門家グループ 最終報告

(2018年1月31日)

FINANCING A SUSTAINABLE EUROPEAN ECONOMY

欧州委員会のアクション・プラン

2018年3月8日アクション・プランを公表。
HLEGの提言をほぼ採用。



アクションプランの概要

(サステナビリティの定義)

- サステナビリティ・**タクソノミー**(サステナブルとは何か)の策定(アクション1)

(個人投資家向け)

- 投資アドバイスの際に、**サステナビリティの選好**を確認することの義務化(アクション4)

(機関投資家向け)

- 機関投資家とアセットマネージャーがサステナビリティを考慮する**義務**の明確化(アクション7)

ESG投資は、なぜ主流化したのか

- **投資に対する考え方が進歩した**

✓ 目先の利益だけを追求すること(短期主義)が、必ずしも真の利益にならないことに気づいた(例:リーマンショック)

- **環境・社会課題がいっそう深刻になった**

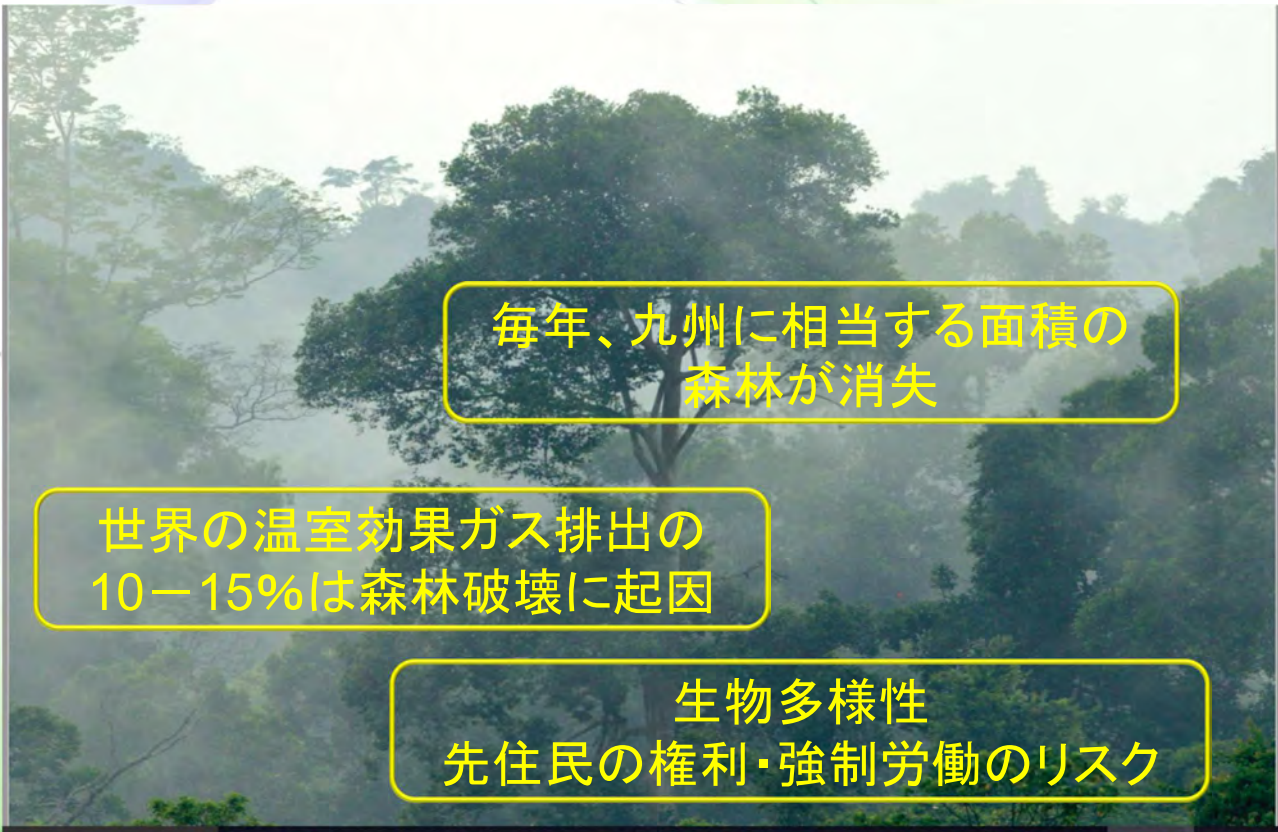
✓ ESGへの対応が、実際に企業利益に直結するようになった ⇒ **ESGは投資成果を改善する**

✓ 環境や社会に配慮しないと、長期的な経済活動の基盤が失われかねない ⇒ **ユニバーサルオーナー**の立場

最近のESG投資の特徴

- ESG投資に傾く勢い(モメンタム)
- プロセスからインパクトへ
- サプライチェーンのESGリスクへの注目

森林の減少



毎年、九州に相当する面積の
森林が消失

世界の温室効果ガス排出の
10-15%は森林破壊に起因

生物多様性
先住民の権利・強制労働のリスク

PRI主導の協働エンゲージメント



Resources, events, signa

ASSET OWNERS ▾ INVESTOR TOOLS ▾ ESG ISSUES ▾ SUSTAINABLE MARKETS ▾ SDGS SIGNATORIES ▾

NEWS AND PRESS

PRI and Ceres open collaborative engagement on deforestation to global investors

13 September 2017



The PRI and Ceres today announced that their recently-launched collaborative engagement on deforestation, the Investor Initiative for Sustainable Forests, is open to institutional investors from around the world.



グローバル・ウィットネスの調査報告

Report / Aug. 1, 2017

STAINED TRADE

We followed the 9,000-mile journey of rainforest timber from Papua New Guinea, where illegal logging is rampant, through China to the U.S.

中文

Tweet

Share

Forests

Papua New Guinea

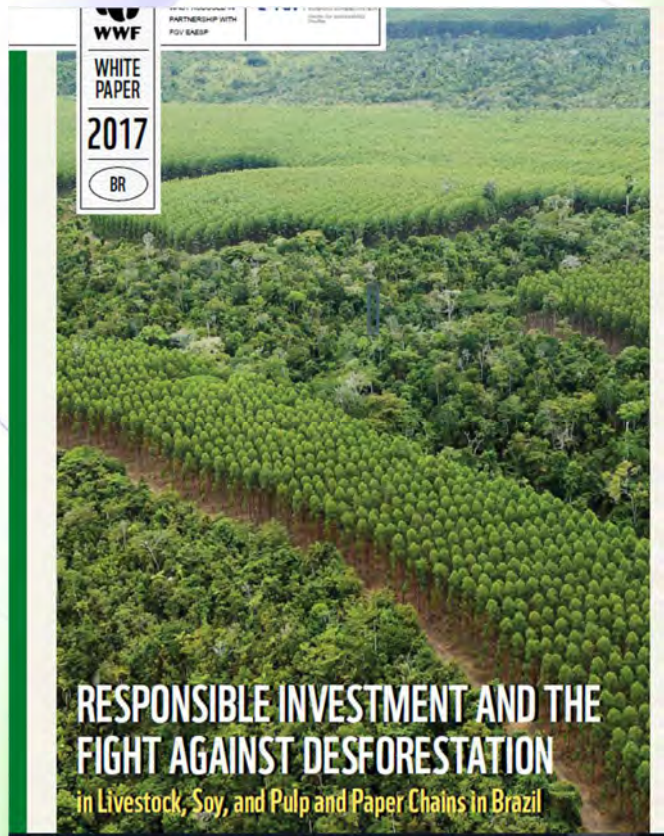
DONATE

The South Pacific nation of Papua New Guinea (PNG) is home to the largest remaining tropical rainforest in the Asia-Pacific region, and one of the biggest land grabs in modern history.

Between 2014 and 2016, Global Witness traced a supply chain spanning some 9,000 miles from the PNG's forests to retail shelves in the U.S.

Stained Trade reveals for the first time, how companies along wood product supply chains leading through China are failing to screen out illegal timber, the risks this creates for U.S. companies, and the devastating impacts the trade is having on people in PNG.

WWFのレポート(2017年)



- ✓ ブラジルで操業する、大豆、牛肉、パルプ関連企業の森林破壊リスクの分析
- ✓ それらの企業に投資する機関投資家のリスクの分析
- ✓ 投資家がそのようなリスクをいかに管理するかについての提言

最後に ～ 2015年の2つの国際合意

- 2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」で、『**持続可能な開発のための2030年アジェンダ**』を採択。
 - ✓ この中で「Sustainable Development Goals (SDGs) (持続可能な開発目標)」を規定
 - ✓ **17の目標と169のターゲット**
 - ✓ 国連加盟国は**2030年までに**貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、社会の平和などの目標を達成すべく努力する。
- 2015年12月、COP21で**パリ協定**に合意
 - ✓ 平均気温の上昇を**2°Cを十分下回る水準**に抑制
 - ✓ 今世紀後半に**実質CO2排出ゼロ**を目指す。

目指すべき社会

環境(自然資本)が守られる

貧困・不平等がない

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



経済活動が安定する

新しい資本主義のかたち

資本概念の拡張

